

全校が一つとなって

現在一年が新入生のために半日入学の準備に取り組んでいきます。今年度は、新入生が一堂に会しての半日入学は避けることとしました。例年実施している一年生による学校紹介は、事前に動画と冊子を作成して新入生にプレゼントし、小学校で見てもらうことにしました。

「紹介する行事や取り組みを、（それらを）経験したことがない一年生が紹介するのは……。乗鞍に行ったことがない一年生が、乗鞍について説明するのは難しいなあ。」

職員室で話す一年職員のつぶやきを耳にしました。確かにその通りです。ちょうど一年前、今の二年生が一年生の時に紹介した内容は、コロナ禍以前のものでした。それを受けて入学した今の一年生は、説明されたことと現実の違いを、いやおうなしに味わうこととなりました。もちろん、これは全ての学年にあてはまります。今年度は「例年どおり」ということが全くありませんでした。生徒の皆さんにとっては、全てにおいてがまんの一年でした。

現在、緊急事態宣言が出されています。毎日感染者数や死者数が目や耳に入ってきました。緊急事態宣言は一応来月の七日までとなっていていますが、今の状況だとどうなるかわかりません。解除されても、コロナの影響は簡単には消えそうもありません。一年生の皆さんは、自分たちが受け継いだままの情報を新入生に提供してくればよいと私は考えています。そして、できるなら、一年前にその情報を得た自分たちが、今年度一年間感染予防に取り組みながら、その通りにできなかつた事実、そして、先輩として新入生にかける期待を伝えてほしい。それが今年度の一年生としての立派な姿だと私は思います。

これまた、一年生に限りませんね。二年生も三年生も、今年度は、中止や変更の一年、我慢の一年でした。旧三校時代から多くの方が携わって築き上げてきた瑞浪北中学校の生活や行事を、自分たちのできる範囲で引き渡してほしい、引き継いでほしい。心からそう思います。

今年度の卒業式まであと一ヶ月です。卒業生の雄姿を見たことがない一、二年生にも見せ、これが中学生の巣立ちの姿だと教えたい……。そう願ってきましたが、現在の状況ではそれも難しくなってきました。

今望むのは、三つの学年がそれぞれの学年の責任を、日常の中で全うすることです。コロナを言い訳にせず、立派に今年度を締め括ることが、来年度につながるのだと私は信じています。「コロナには結局勝てなかつた」などという足跡だけは残してはなりません。今年度もあと少し！全校が一つとなってやり切りしましょう！

（二月二十五日 記）